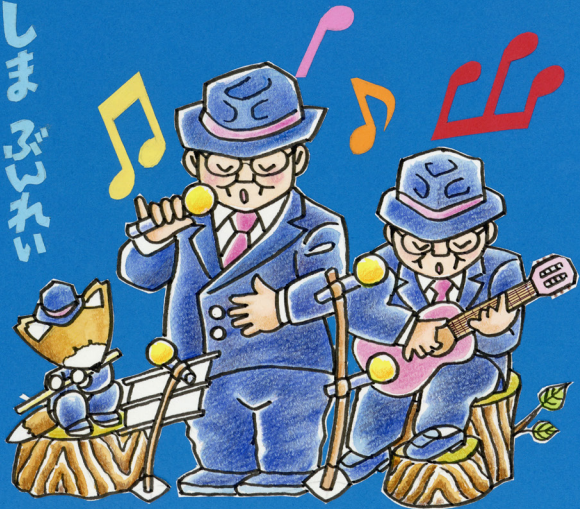


しまぶるい

しまぶるい



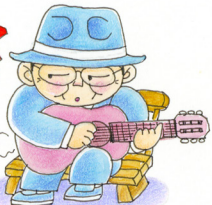


今日も待ってます  
 いつもものところで  
 パンとコーラー  
 買って  
 キンキの好きな  
 ミルクティを

大丈夫...  
 だいじょうぶ...  
 ホロロ〜...  
 聞こえな  
 なかった...  
 けど...



アツ?...  
 ぶんぜんに  
 聞こえた  
 かな...  
 ...ホロロ...



ギンギン  
元気ですか...

俺は元気です...  
そちらの暮らしは  
どうですか?

戻ってこない  
ところを

みると  
そちらは  
そんなに  
居心地が  
いいの  
でしょうか...



ギンギンが  
テープに残してくれた  
「ギンギンの唄」  
了解とらなかつた  
けど勝手に  
CDにしたヨ...

最近あれとお揃いの黒い中折ハット

俺ひとりじゃ「ブラックハットフラガーズ」に  
ならな...ひとりじゃサマにならな...  
やっぱり二人一緒でなくは...

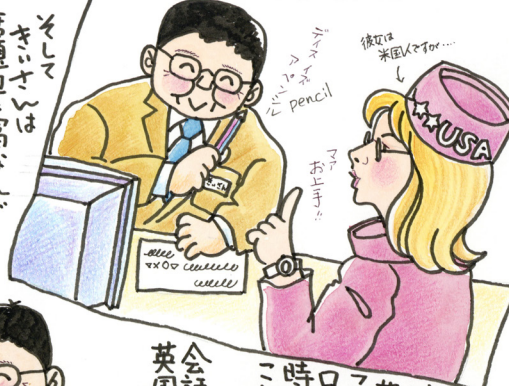
ギンギン返事はいらないよ...  
いつもそばにいなくてもるんでしょ...  
俺は元気です...



そして  
キーンは  
話題豊富な人で  
すごい博識者でも  
ありません  
いつも敬語がやれ  
ました

ぶくわん知ってる??  
一日は二十四時間  
一週間は七日です  
「アホ!!!」

それくらい  
知ってる  
ワァ!



彼女は  
米国人です...  
pencil  
おはよう  
おはよう

キーンへの  
英会話力は  
すごいものでした  
英文も普通に  
フなりました  
ロンドンに渡った  
時は全く話す  
ことができた  
かったです  
英会話レベルは  
英国人もびっくり!!



「おはようございます。ぶくわん  
体調はいいですか?」  
「相手は朝早い...」  
「明朝の時は...」  
「長...」  
「まず始めに...」



十九時すぎ  
キーンは  
両手を  
ズボンの  
ポケットに  
ポケットに  
空口笛を吹  
きながら  
出勤

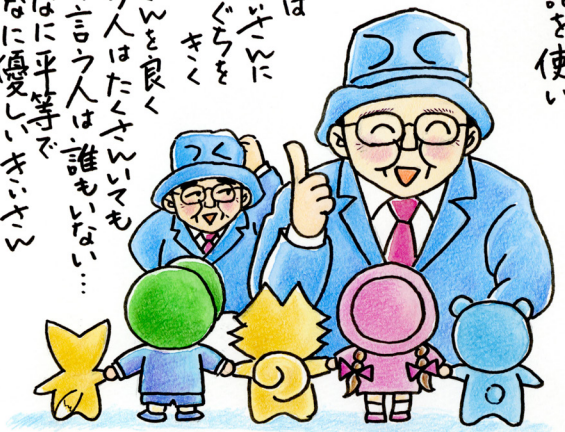


「じゃじゃ」のひとりが  
 キンキンのひとりが  
 キンキンのひとりの別れに  
 なるとは思って  
 みませんでした  
 この時のキンキンの  
 淋しげな顔が  
 今でも忘れ  
 られません。

『じゃじゃ』  
 オソイキンキン  
 どこ行くんだよ  
 ジュータンは  
 やめろ

「じゃじゃ」を良く  
 言う人はたくさんも  
 悪く言う人は誰も  
 みんなに平等で  
 みんなに優しい  
 そんな「じゃじゃ」が  
 突然...

私は  
 キンキンに  
 ためぐちを  
 キンク



「じゃじゃ」は  
 誰に対しても  
 敬語を使い